

無政府主義の父

(五)

バクウニンの生涯

バクウニンの生涯

バクウニンは、オーストリアのボヘミア地方に生れた。父は織物の商人で、母は貧しい農家の娘であった。バクウニンは幼少から父の店を手伝うが、母の死後、父は借金で店を破産し、一家は貧窮に陥った。バクウニンは、母の死を恨み、父を殺すことを誓った。父は、バクウニンの狂気に驚き、彼を精神病院に送った。バクウニンは、精神病院で、自由と平等の理想を唱え、病友を組織した。病友たちは、バクウニンの理想に賛同し、彼を「無政府主義の父」と呼ぶようになった。

バクウニンは、オーストリアのボヘミア地方に生れた。父は織物の商人で、母は貧しい農家の娘であった。バクウニンは幼少から父の店を手伝うが、母の死後、父は借金で店を破産し、一家は貧窮に陥った。バクウニンは、母の死を恨み、父を殺すことを誓った。父は、バクウニンの狂気に驚き、彼を精神病院に送った。バクウニンは、精神病院で、自由と平等の理想を唱え、病友を組織した。病友たちは、バクウニンの理想に賛同し、彼を「無政府主義の父」と呼ぶようになった。

バクウニンは、オーストリアのボヘミア地方に生れた。父は織物の商人で、母は貧しい農家の娘であった。バクウニンは幼少から父の店を手伝うが、母の死後、父は借金で店を破産し、一家は貧窮に陥った。バクウニンは、母の死を恨み、父を殺すことを誓った。父は、バクウニンの狂気に驚き、彼を精神病院に送った。バクウニンは、精神病院で、自由と平等の理想を唱え、病友を組織した。病友たちは、バクウニンの理想に賛同し、彼を「無政府主義の父」と呼ぶようになった。

バクウニンは、オーストリアのボヘミア地方に生れた。父は織物の商人で、母は貧しい農家の娘であった。バクウニンは幼少から父の店を手伝うが、母の死後、父は借金で店を破産し、一家は貧窮に陥った。バクウニンは、母の死を恨み、父を殺すことを誓った。父は、バクウニンの狂気に驚き、彼を精神病院に送った。バクウニンは、精神病院で、自由と平等の理想を唱え、病友を組織した。病友たちは、バクウニンの理想に賛同し、彼を「無政府主義の父」と呼ぶようになった。

バクウニンは、オーストリアのボヘミア地方に生れた。父は織物の商人で、母は貧しい農家の娘であった。バクウニンは幼少から父の店を手伝うが、母の死後、父は借金で店を破産し、一家は貧窮に陥った。バクウニンは、母の死を恨み、父を殺すことを誓った。父は、バクウニンの狂気に驚き、彼を精神病院に送った。バクウニンは、精神病院で、自由と平等の理想を唱え、病友を組織した。病友たちは、バクウニンの理想に賛同し、彼を「無政府主義の父」と呼ぶようになった。

無政府主義の父

無政府主義の父

無政府主義の父

無政府主義の父

無政府主義の父

主義者の聖書

小田原在酒 句村の青年結末

凡る公共事業を御免蒙るご

▽出初式を前に器具一切を返納

小田原在酒 句村 小入 陣は陣の社主義者 藤一夫氏等が附近 細

過激派一流の宣傳

米國今日佛國の拒造を肯定

米國今日佛國の拒造を肯定

表面執つて

吾らが背後

吾らが背後

兎角の物議

兎角の物議

兎角の物議

兎角の物議

兎角の物議

兎角の物議